

表紙の写真を募集中



議会情報 QRコード  
「マチイロアプリ」で議会だよりを  
スマートフォン等へ配信しています。

原生の森公園に咲く カタクリの花

12月議会

一般会計補正予算を 3 億 7,500 万円増額 他 ..... 2

11 月臨時会一般会計補正予算を 11 億 4,800 万円増額

議案の審議結果 ..... 3

一般質問（14 人が町政を問う） ..... 5

委員会だより（常任委員会） ..... 13

# 令和元年度 12月定例会

## 一般会計補正予算

### 3億7,500万円を増額し、 133億9,500万円に

令和元年12月定例会は、12月2日から12月11日までの10日間で行われました。  
議案は会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定や条例の一部改正、令和元年度の補正予算など20件の議案について原案どおり可決しました。  
一般質問では14人の議員が質問しました。

#### ○歳入(抜粋)

財政調整基金繰入金を	1億6,700万円増額
障害者自立支援給付費国庫負担金を	5,707万円増額
介護サービス提供体制整備促進事業費県補助金を	4,743万円増額

#### ○歳出(抜粋)

心身障害者福祉事業支援費扶助に	1億1,414万円増額
社会福祉施設等施設整備費及び 社会福祉施設等設備整備費補助金に	4,786万円増額
農地災害復旧事業 工事請負費に	2,369万円増額

# 令和元年度 11月臨時会

## 一般会計補正予算

### 11億4,800万円を増額し、 130億2,000万円に

令和元年11月臨時会は、11月11日の1日間で行われました。  
令和元年度の一般会計補正予算の議案について原案どおり可決しました。

#### ○歳入(抜粋)

河川等災害復旧費国庫負担金を	3億6,840万円増額
公共土木施設災害復旧事業債を	2億8,400万円増額
財政調整基金繰入金を	2億7,600万円増額

#### ○歳出(抜粋)

道路災害復旧事業 工事請負費に	7億1,070万円増額
河川災害復旧事業 工事請負費に	9,900万円増額
農地災害復旧事業 工事請負費に	7,737万円増額



# 令和元年第4回(12月)函南町議会定例会採決一覧表

議案番号	提出議案名	審議結果	① 岩城 仁	② 古村 高	③ 野田 哲郎	④ 兵藤 慎一	⑤ 田中正 美	⑥ 植松 淳史	⑦ 杉村 清	⑧ 田口 彰一	⑨ 市川 政明	⑩ 土屋 学	⑪ 馬籠 正明	⑫ 中野 博	⑬ 鈴木 晴範	⑭ 加藤 常夫	⑮ 長澤 務	⑯ 大庭 桃子
第97号	令和元年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第98号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第99号	総合計画審議会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第100号	指定管理者選定委員会設置条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第101号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第102号	町立保育所条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第103号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第104号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第105号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第106号	介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第107号	行政財産の目的外使用に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第108号	指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第109号	指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第110号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第111号	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第112号	令和元年度町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第113号	令和元年度上水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第114号	令和元年度田代・軽井沢・丹那地区簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第115号	令和元年度東部簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
第116号	印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
請願第3号	請願書	不採択	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×		×	×	×	○

# 令和元年第2回(11月)函南町議会臨時会採決一覧表

第96号	令和元年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
------	--------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---

賛成：○、反対：×

※ 議長 中野博 は採決に加わっておりません。

# 軽井沢地区におけるメガソーラー建設計画への 条例適用に係る請願書の討論

## 賛 成 討 論

条例という法的措置を

なぜとらないのか

古村 高

今回の台風で軽井沢メガソーラー予定地北側の既存メガソーラー真下から大きく崩れました。雨で崩れる中山間部になぜ巨大メガソーラーを建設するのでしょうか。

住民は町に反対ではなく、町が懸命に作ってくれた条例をなんとか使おうと努力しています。「法的に阻止できる法的な措置はない」と町は言いますが工事着手日はまだ来てません。条例適用という法的な措置があります。

町長も議員も不同意、議会も反対決議で条例は適用され軽井沢メガソーラーは止まると思っていたがそうではなかったという発言が先日の集会でありました。町民の多くが問題視しており、ただ反対不同意だけではメガソーラーは止まりません。

住民の命のために子供達の安全のために町長にこの条例の適用を求めます。

条例適用は可能

田中正美

町長も、町として、軽井沢地区におけるメガソーラー計画への不同意の意思は今後も貫いていくとともに、町長として町民の声に応えていくためにも、反対してまいります。町民、議会、行政が一体となって連携し、できる限りの対応をしていきたいと考えております。町民の皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします、とホームページ、広報かなみを通して発言してきました。

函南町議会も軽井沢におけるメガソーラー建設計画に対し、断固反対すると、全会一致で決議しました。

条例適用すれば、100%阻止できるとは、言い切れませんが、現時点では有力な手法であることも事実でしょう。請願については賛成すべきと考えます。

## 反 対 討 論

条例への遡及適用はできない

杉村 清

請願第3号については、9月定例会で不採択になった請願第2号「条例施行と同時にメガソーラー事業者に対し条例適用を求める」という内容は同様であり、また特別委員会での不採択の理由は、事業着手後施行した条例を遡っての適用はできないというものです。

この事業着手の時期の考え方が、相互の解釈の違いとなり請願採択に至らないところです。函南町議会は9月定例会でメガソーラー反対を決議しており、私自身も函南町民として設置計画には断固反対です。

ただ請願第2号が不採択となり、今日までの間に事業着手の時期に対する考えを覆す理論に至らないことから前回の請願と同様、条例適用を町に求めることはできないとの結論に至りました。

条例適用は適切ではない

長澤 務

本条例第9条第1項で規定されている届け出なければならぬ時期は、「事業に係る法令の規定に基づく許認可等の申請又は届出の前までに」とあり、令和元年10月1日の条例施行時において、本案件は、県に事業開始を条例で意味する許認可等の申請がなされていることから、届け出なければならぬ時期を既に過ぎており、本条例の適用は事業者に物理的に無理であることを強いることになる。

今後は環境評価に対しての町の意見書の提出や、その後の町に対して事業者からの個別申請など設置に対して不同意に基づく手立てがある。

以上のことから本請願については、条例適用は適切ではないとして、反対討論とする。

土屋 学

## 田方農業高等学校創立120周年に向け町の連携と協力を

協議していききたい

質問

田方農業高等学校はわが町が誇る伝統校で令和3年に創立120周年を迎える。町と学校をPRする最高の時。学校と連携し地域活性化に向け支援や協力を図り弾みをつけてほしい。

答弁

田方農業高等学校はイベント参加や函南ブランド品、ふるさと納税返礼品等町の多くの事業に協力いただいている。120周年に向け、町のイベントへの対応について関係団体とも協議していききたい。

質問

台風19号の課題と今後の対策、高齢者・障がい者等の避難行動と避難所対応について伺う。

答弁

災害で危険が迫りくる場合、どのような危険があるのか自身で考え早めの避難行動へ結びつくよう、広報や出前講座で周知徹底を図る。

答弁

今後も各分野と連携して、観光地としてブランド力を高め、町の魅力を町内外に広く発信し、交流人口増加や活性化に取り組む。



函南ブランドに認定されている田農牛乳

## 観光振興の促進強化を

函南町の魅力を広く発信する

質問

観光振興は、移住・定住・交流人口等の増加に向け様々な効果が期待できる。観光振興促進強化に積極的に努めていただきたい。

十国峠、月光天文台、酪農王国、古墳や遺跡、スポーツ施設等、民間とも連携し、あらゆる観光資源を使い効果のある方策を進めてほしい。

馬 籠 正 明

## 台風第19号の教訓

### 浸水被害の軽減を国や県と協議

答弁

避難情報は10月11日の「避難準備・高齢者等避難開始」、12日の「避難勧告」、「避難指示（緊急）」を発令。避難中の怪我や事故はなかった。また、避難所の収容容量は十分であった。

10月14日に災害ボランティア本部を設置し、災害ボランティアの募集やニーズの受付に関する情報提供は、13日から社会福祉協議会のホームページ・町のホームページ及びかなみ安心情報メールで周知を行った。

浸水エリアを防災マップに落とし込む予定。自主防災会との情報伝達には電話で行った。今回の台風は、河川の水位が上昇し、ポンプによる強制排水が出来ない時間帯があったことから、浸水被害を軽減させるために何ができるか、国土交通省や静岡県等と協議していく。

質問

令和元年11月5日、台風19号による被害状況の中間報告を受けた。6カ所の避難所を開設したが、避難指示の徹底や避難行動の安全性、避難所収容容量などの課題は。

また、災害ボランティアの支援が欲しい住民に対して、情報提供に問題はなかったか。現在作成中の防災マップに反映する事項は。自主防災組織との連携は。台風19号の被害を受けての教訓や課題は。



柿沢川松の木橋水位観測器



田口 彰一

## 狩野川の浚渫と 第二放水路は

広域的に検討し、長期的な視野で対応

能力を向上させる必要がある。そのため狩野川の浚渫や現在の放水路の能力向上や新たな放水路の検討が必要になると思うが伺う。

**答 弁**

平成10年の災害で、来光川と柿沢川の下流域の河川改修が、平成15年11月に完了して、改修部は50年に一度の雨量に耐える河川整備となっている。

しかし、台風19号は、100年に一度の雨量を記録し、50年に一度の整備計画の想定範囲を大きく超え、堤防決壊の恐れから、一部の排水機場の運転を調整する状況

況が発生し、被害が拡大したものと考えている。

水位が上昇した場合運転の調整は、国、県、町が30分おきに内水位、外水位を排水機場と連絡をとり、判断する。

狩野川の流下能力の向上は、河道掘削が、用地確保の必要もなく早期の対応が可能のため、有効な手段と考えている。

新たな放水路の検討は、必要なことと考えられるが、広域的に検討し、長期的な視野で対応する問題だと考えている。



仁田の稲妻排水機場

河川の水位が上がり、堤防決壊の恐れから、排水機場の運転を止めたことにより、浸水被害が拡大した地区があった。  
今後排水機場の運転を止めるような雨量の台風は、毎年のように来る恐れがある。  
来光川、柿沢川の水位を抑えるため、狩野川の流下

植松 淳史

## 災害発生時における 情報の伝達について

平時からも情報発信を充実させていく

**質 問**

台風19号では初動や対応が早くて喜ばれたが、災害前後において避難所や住民への情報伝達で改善の余地があるのではないかと

**答 弁**

6カ所の避難所に職員を派遣して防災用無線を基本に携帯電話を併用し、情報伝達していた。避難時の情報発信は防災ラジオやスマホ等に限定されており、今後はネット環境対策として学校におけるWi-Fiの検討やスマホ電源の準備等を進めたい。また、ホワイ



道の駅の函南町施設案内コーナー

伊豆半島全体の観光連携について  
各種機関と連携して町内誘客につなげたい

**質 問**

伊豆ゲートウェイ函南は定着してきたが、伊豆半島各地へ案内するだけでなく

く、各地から函南に誘客する取り組みや、他の道の駅をはじめとする連携や今後のビジョンはどうするのか伺う。

**答 弁**

道の駅伊豆ゲートウェイ函南では町内観光地紹介コーナーを設けており、様々なイベント等を通して町内観光施設への誘客につなげるよう継続してPRに努めたい。また、「伊豆道の駅ネットワーク」等を通じて伊豆半島全体の周遊観光を促進しており、観光協会とも連携して誘客に有効なパンフレット等の広範囲な配

架も充実させたい。

杉村 清

# 台風第19号を教訓にした 来光川の水害対策は

## 排水機場等の機能向上を図る

質問

当町における、来光川・柿沢川・大場川の氾濫危険と治水対策は。整備中の来光川工事で、越水や氾濫から守れるのか。

える。

護岸強化及び整備について引き続き県へ要望する。整備工事により冠水被害への効果があったと考え

大竹橋下流護岸崩落など脆弱な上流部の護岸対策は。病院通りの用水路改修や大洞川の浮環工事での整備効果は。

排水機場のフル稼働での内水被害の要因は。水防多目的センターの果たした役割は。

答弁

今後の治水対策としては排水機場等の機能向上を図る。堤防等の補強は整備途上のため早めの災害情報を伝

質問

企業誘致と雇用の促進対策は中長期的に基盤整備を進める

平井耕地や塚本西耕地の今後の企業誘致の展望は。これからの具体的な企業誘致戦略は。町は国の地方創生策にど

のように対応するか。

答弁

平井耕地及び塚本西耕地については伊豆縦貫自動車道の（仮称）函南インターチェンジ事業化とインフラ整備や市街化調整区域など課題があるなか中長期的に基盤整備を進める。

幹線道路周辺に企業のニーズをマッチングさせ誘致を進める。

町は企業への優遇制度等を創設し対応している。



台風 19 号により削られた町道大竹 1 号線

市川政明

## 台風第 19 号の被害に対する 復旧支援について

### 災害救助法が適用

質問

台風19号では堤防の決壊等による河川の氾濫はなかったものの、町内の平坦部では大雨による外水位と内水位の上昇により、塚本排水機場において、内水排除ができなくなったことから、内水位が急上昇して低い地域が冠水してしまい、住宅や事業所、農業施設、農作物等が、大きな浸水被害を受けることとなった。被災された方々への町の復旧支援や治水対策について伺う。

答弁

このたびの台風19号の被害を受けて、函南町に災害救助法が適用された。このことにより被害を受けた住宅については、被災した住宅の応急修理制度の対象となる場合があることから、町は10月25日に床上浸水等で被害を受けた住宅337件に対し、応急修理制度の案内を郵送した。

応急修理制度は、り災証明のり災区分で、一部損壊、半壊、大規模半壊の判定を受けた住宅で、日常生活に必要な最低限の部分の応急的な修理をするもの

で、補助限度額は税込みで、一部損壊が30万円、半壊、大規模半壊が59万5千円となっており、修理費用が限度額を超える場合は自己負担となる。

現在整備されている塚本排水機場は昭和53年に湛水防除事業として整備され、ポンプ2台で毎秒2.5m³である。ポンプの増強については、今後も補助事業として実施していただくよう国・県へ要望する。



塚本排水機場



兵藤 慎一

## 空家等対策の推進

函南町空家等審議会で推進を図る

ない。令和元年11月に「函南町空家等審議会」を開催した。

今後については、同審議会が空き家とみなされる物件の対応も含め、民泊や飲食店、シェアハウスなど賃貸住宅としての有効活用も検討しながら空家等対策計画に沿って推進を図っていく。

### 第3次函南町食育推進計画について

食育・健康増進月間の強化

質問

函南町は平成25年度の調査で、空き家総数が4千210棟、そのうち管理されていない空き家が990棟と報告した。しかし平成30年までの継続調査で180件の空き家等を確認したとしている。

今後は、確認されていない空き家とみなされる物件も対象になるのか。空き家の有効活用状況と今後の具体的取り組み状況について尋ねる。

答弁

有効活用した事例はまだ

和2年度の強化点について伺う。

答弁

「若い世代を中心とした食育の推進」「健康寿命の延伸につながる食育の推進」「伝統的な食文化の継承に向けた食育の推進」を重点目標として、学校や各種団体、事業所、企業などと連携を強化し、出前講座の拡大、働き盛り等世代への食習慣の普及啓発に努める。

食育月間や健康増進月間に合わせた食育広報活動の強化推進を図る。



食育事業に参加する町民

野田 哲郎

## これからの豪雨災害に向けた治水等対策

河川の本流・支流対策を一体的に検討

質問

台風19号に係る町内各区の対策本部の設置状況、設置に対する町の考え方及び今後の取り組みは。

新計画と更新に係る予想経費及び町の負担は。

柿沢川の未整備低水護岸工事の実施及び今後の中山間地域での開発行為は。

狩野川改修促進期成同盟会の取り組み内容、また、狩野川の浚渫と第二放水路に対する所見は。

答弁

各区長との電話等による連絡体制をとっており、今回は10地区で避難所設置等対応いただいた。今後も、この連絡体制を維持し各地区の対策本部設置・運営に向けた協力をお願いする。

れる。今後は、厳しく対応していくことが必要となる。

同盟会では、狩野川水系・流域の治水対策を推進するため、国等への要望活動、意見書の提出を行っている。第二放水路は、各種の検証が必要となり、現状では、現施設の拡大の方が効果があると考ええる。



畑毛排水機場1・2号ポンプ



加藤常夫

# 令和2年度予算編成について

安全で安心して生活できる  
まちづくりを目指して

質問

令和2年度予算編成方針の基本的な考え方と台風19号の災害復旧による財政運営の影響は。

答弁

令和2年度の予算編成は、第六次函南町総合計画「前期基本計画」の主要事業を中心に予算化する方針であるが、経常的経費の一般財源分の抑制を図るため、各課の予算要求には枠を設けて、その範囲内での要求を指示している。

また、令和元年度もPDCAサイクルによる事業評価を384事業行っているが、見直しは29事業であった。予算の大幅な削減に繋がる見直しとまではいかないが、毎年、事業の成果や進捗状況を継続的に評価検証

していくことが重要である。

台風19号の災害復旧において、多額の財政出動となったことから、基金の減少と町債の発行額の増加により将来負担比率の大幅な上昇は避けられず、この災害による、ここ数年の財政運営への影響は大きいと考えている。

令和2年度の予算編成では、基金の繰入と町債の発行を極力抑え、限られた財源を賢く使うための優先順位を設けて取組んでいく。

また、今後の災害への備えとして、減少した基金への積立をしつかりと行うとともに災害に強いまちづくりを進めていく。

町民の皆様が、安全で安心して生活できるまちづくりを目指した予算編成に鋭

意努力していく。



役場からの街並

岩城 仁

## 災害時における断水対策は

給水活動が効果的で効率的に展開できる体制づくりを図る

質問

台風19号により、断水が起きました。函南町には乳牛、肉牛が千500頭います。1日80〜100ℓの水を飲む乳牛にとっては死活問題です。断水時の家畜に対してどのような対策があるのか。

答弁

大きな地震等の災害により断水が発生した場合、町が実施する給水活動は、人に対する生活用水の給水を最優先させることになる。しかしながら、酪農などの

歴史ある産業は、町にとっても大切な資源であり、人と比較することは難しいが、当然家畜も大切な生命であり、営農家にとっては貴重な財産であると考えている。

町としては災害発生時の基本である自助、共助、公助の考え方で、事前に対策を確認し対応することが重要であると考えている。自助の部分は受水方法を考慮して貯水槽を準備しておくことや河川や水路、ため池の水などを汲みあげ、営農用水を自力で確保し使用できるようにしておくこと。共助の視点からは、組織的に情報共有しておくことなどが有効な手段である。最後に公助として、災害の規模や被害の状況にもよるが、水道事業管理者として適確な支援ができるよう給水活動を正確に周知し、給水活動が効果的で効率的に展開できる体制づくりを図り、有事の際に備えていきたいと考えている。



畑の牧場池

古村 高

## 軽井沢のメガソーラー計画について

条例は適用できない

質問

条例9条1項のみならず同3項の町長による不同意伝達は可能であると考えるが、なぜ条例適用に踏み切れないのか。

函南町の条例は他の市町と異なり、事業者有利にならぬように町は修正したが、結果として業者有利になったのでは。

「住民が反対し議員も条例適用に賛成し町長が条例適用と言えば行政もついていく」との発言もあったがいかがか。

答弁

法の不遡及の一般原則に反している。条例9条を文言どおりには適用できない。

県のモデルガイドラインに合わせた。着手時期に関しては書類の受付日を事業着手と考えている。

発言は意見を述べただけで、町の方針ではない。

丹那小学校地区の留守家庭児童保育所に関して

6年生の受入拡大の必要性を検討する

質問

核家族の多い、通学距離の長い丹那地区において、6年生の対応はできないか。国県町の補助金を活用し民間が学童をやることへの町の対応は。

学童に入れぬ6年生を運転ボランテニアを活用した民間組織により送迎できないか。



丹那小学校へ通う子どもたち

鈴木晴範

## 時代に合わせた子どもを育てる地域コミュニティはどうあるべきか

これからも側面から支援していく

質問

少子化の影響で児童数も減り、共働き家庭の増加などで函南町子ども会連合会（以下略称函子連）の役員選出が困難になっている。函子連の役割やニーズについてどう考えるか。子ども会への加入率の現況は。地域の子ども会を充実し、函子連事業を生涯学習課事業と共催するなど負担軽減できないか。

町内にはさまざまなスポーツ競技を通じて青少年育成する少年団があり、現在12団体で活動している。2020年はオリンピックパ



塚本の完成した「どんど」の姿

答弁

函子連に加入している児童は現在31%となっている。地域懇談会等で役員の選出に苦労しているという話は聞く。会員相互が研鑽

して児童福祉の増進に寄与することを目的に組織され、子ども会同士の関係づくりや情報交換の役割を担っている。大変であるが子ども達のために今できることを会員相互で考えていただきたい。共催等には申し出があれば、検討協力をしていく。

スポーツ少年団については、現在新しい設立の話はないが、新しい団が創出されるのはとても良いこと。少年団本部に対し補助金を交付しているので、本部と話し合いながら側面から支援していきたい。



田中正美

## 町民のいのちを守る 防災について

### 慎重に検討し発令

質問

全国で自然災害が多発する令和元年、地球温暖化、海水の温度上昇により、広範囲のゲリラ豪雨等の異常気象による水害、土砂災害への備えが重要な課題となっている。災害復旧も重要である。

答弁

避難情報は、3段階から構成されており、令和元年度から全国的に5段階の警戒レベルにより、避難情報を併せて発令することになっている。

### 消防署の救急体制について

初動体制は確実に強化

質問

広域消防になったので、



河川災害の仮復旧

知恵の和館専用の駐車場の増設について

駐車場は共用

質問

平成25年に多くの町民の要望に基づき、函南町立図書館をオープンし、「読書のまち、かなみ」を宣言した。読書だけでなく問題解決に必要な情報、資料提供を行っている。自家用車で来る以外ない。

答弁

駿東伊豆消防本部は、平成28年の広域化により県下3番目の規模の消防本部となった。広域化の評価としては最も効果的であったのは車両、人員の相互補完が非常にスムーズとなったことである。

大庭桃子

## 幼保の無償化にともない 給食費を無償に

今のところ考えていない

質問

令和元年10月から、3歳児から5歳児の全ての子どもの幼稚園、保育園、認定こども園等の利用料が無償となった。幼保の給食費を無償化してはどうか。また、函南町の多子世帯減額の考え方が他市町と異なり不利益と考えるが、どうか。

答弁

3歳から5歳の子ども880人の給食に係る食材料費は年間約4千万円である。今回の改正では従前と変更は

なく、当町は国と同様であるので、低所得者の負担が増えたりする「逆転現象」はない。

### 道の駅、川の駅の事業を見直せ

地域活性化の施設として活用したい

質問

今回の台風19号で、道の駅、川の駅は大きな被害にあった。被害額はどれくらいか。被害額の補填はどのようなにされるか。特に、水辺広場は現状復帰を諦め、余分な町費を使うべきでない。

答弁

道の駅は床上50cmの冠水被害。設備・物品被害は約2千万円ほどだが保険で全額補填される。建物被害の半額は補填されるが残り1000万円の持ち出し。水辺広場の復旧金額は町の費用で660万円ほど。今後地域活性化の施設として考えたい。



伊豆ゲートウェイ函南 川の駅

軽井沢地区のメガソーラーはどうなるのか

条例改正は考えていない

質問

メガソーラー建設計画は、今や町民、議会、行政が一体となって反対している。だが「条例適用を求める請願」が再度出されている。条例適用が建設反対の有力な手段になり得ると考えるが条例を改正する意思はないか。

答弁

町としても県に働きかけている。軽井沢のメガソーラー計画を阻止することを目的に条例を改正することは考えていない。

No.	要望書、陳情書等の取扱状況（受付順）	
1	令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	議員に写しを配付
2	リフォーム助成事業の要望について	議員に写しを配付
3	学校教材の計画的な整備推進についてのお願い	議員に写しを配付
4	厚生年金制度への地方議会議員の加入実現を求める要請活動について	議員に写しを配付
5	「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情書	議員に写しを配付
6	「歯科口腔保険の充実と、保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」採択に関する陳情	議員に写しを配付
7	要望書（シルバー人材センター事業に対する補助金の確保等について）	議員に写しを配付
8	保育・学童保育関係予算の大幅増額と施策の拡充を求める意見書提出などを求める陳情書	議員に写しを配付

## 募集

# 議会だより 表紙の 写真を募集しています

### ●応募内容

【募集写真】 函南町内で撮影した写真で未発表のものに限ります。

【規 格 等】 2L またはキャビネ版、カラー写真。デジタルカメラの場合は 300 万画素以上。画像ソフトの編集を行っていないこと。

【被 写 体】 風景、人物は問いませんが、人物が特定できる作品は、必ず被写体ご本人（未成年の場合は保護者）に承諾を得てください。

【応募方法】 住所・氏名・電話番号、写真の撮影場所、撮影日時を記入の上、議会事務局へ郵送、または持参してください。

### ●応募資格

函南町内在住の方、または函南町内に通勤・通学されている方

### ●応募締切

令和2年3月25日（水）必着

### ●その他

採用作品の著作権は、函南町議会に帰属するものとします。

応募作品の採用は、議会だより編集委員会で選定します。

ご応募いただいた写真は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

採用された方は、氏名の公表をさせていただきます。

謝礼はございません。

### ●提出先・問合せ先

〒419-0192 函南町平井 717-13

函南町議会事務局 議会だより編集委員会

tel : 055-979-8122





## 総務建設委員会

### 会計年度任用職員制度について

令和2年4月1日に施行される、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により、一般職の会計年度任用職員制度が創設されるため、その概要が説明された。

現在の臨時・非常勤職員の雇用は、令和2年度以降はこの制度による雇用へ移行し、勤務条件により期末手当の支給が受けられることや、夏季休暇の取得、公務上の傷病による休暇が有給の休暇になる等、労働環境が改善される。一方で、函南町には平成31年4月1日時点で194名の臨時・非常勤職員が在職しており、町は人件費の増加を見込んだ予算編成が必要となる。

採用にあつては多様な媒体を用いて広く募集を行い、適材適所の職員配置により、町行政の業務が円滑に行われるよう努められた

い。

### 第六次函南町総合計画の中間評価について

令和元年度は、第六次函南町総合計画の前期基本計画の中間年に当たするため、策定から2年間の評価を踏まえた、目標に対する達成状況について報告がされた。

総合計画に定められた90の目標について、具体的な目標値に対する達成状況として評価がされた。交通事故発生件数、外出・生きがい活動拠点の数、道の駅・川の駅の利用者数など、様々な分野で目標を達成しており、目標達成が見込まれるものを含めると、70%を超える達成率となっている。

残り2年間に ついて、達成ができていないものについては維持継続を行い、見



軽井沢地区メガソーラーの現地視察

### 軽井沢地区メガソーラー（現地視察）

軽井沢地区に建設が計画されている建設予定地を視察した。丹那盆地からの全体的な建設予定地の確認や、建設予定地内の調整池や排水路の設置箇所の確認を行った。

込みがないものを少しでも達成に近づけるよう、努められた。

## 文教厚生委員会

### 生活支援体制整備事業の取組み状況について

町の生活支援体制整備事業の経緯と実績について説明がなされた。

生活支援コーディネーターによる、地域の支え合い勉強会・協議会では、地域の困りごとの共有や課題解決に向けた協議が行われている。

高齢者の居場所づくりに ついては、令和元年7月現在で、目標を超える38か所が設けられた。居場所での活動を通し、認知症の予防や仲間づくり等の介護予防に効果が期待される。

外出等に対する支援については、町内各地での移動販売や、移動支援として社会福祉協議会による「かなみおでかけサポート」等が行われている。

町においては、高齢者の外出・生きがい拠点となる居場所づくりの推進を継続するとともに、各種事業の

実施や、適切な助成等を行われない。

### 子どもの読書活動推進事業について

函南町立図書館では、「函南町子どもの読書活動推進計画」により、家庭や学校、地域の各分野が連携し特色ある取り組みを進めている。

学校等との連携事業として、幼稚園・保育園親子図書館見学会や、小中学校図書館見学会・調べ学習会等が行われており、子ども達の読書推進に繋がっている。

その他にも、おはなし会や読み聞かせサポート隊など、さまざまな連携事業で活躍している70名を超えるボランティアがあり、町民と一体となり読書のまち・かなみの実現に取り組んでいる。

これらの取り組みが実を結び、本年「平成31年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣表彰を受賞した。

平成31年3月には第三次

の活動推進計画が策定されており、より一層の読書活動の広がりに繋がられたい。

### 小学校の英語授業の現状について（現地視察含む）

視察した小学校では、教師とALTによる授業が行われており、大型のモニターに海外とのオンライン通話の画面を映し、児童が興味を持って学習に取り組める内容であると感じられた。

今後も新学習指導要領の目指す、コミュニケーション能力の育成につながる授業を行うとともに、町内の5つの小学校において、授業内容の差が生じないよう、教員やALTの適切な配置をされたい。



授業で行う海外とのオンライン通話

## カメラで地域の魅力を再発見



桑原

加藤 友義

私は、65歳から趣味としてカメラを始めました。風景の写真を撮りたいと思い被写体を探し、カメラを片手に町の中を巡っていると桑原地区と三島市の境の葦山街道に富士山が裾野を広げて、とても優雅に見える場所を見つけました。

もちろん富士山は生まれた時から見えますが、じっくり眺めたことなく、山肌に夕日を浴びて濃い青色から薄いオレンジ色へ、ゆっくり変化する光景と空と富士山が赤く一つになっていく様子を堪能し、シャッターを何枚も切りました。毎日、眺めることができる贅沢さ、他の土地の人は見ることができないであろう優越感もありました。

普段、何気なく通っている道路でも目線を変えてみると、あらためて魅力的な場所を再発見できるものだと思います。

皆さんもカメラを片手に出かけてみませんか。新しいお気に入りの場所を身近に発見できるかもしれません。

### 表紙の説明

表紙の写真は、エメラルド区の鈴木雄三様からご応募いただきました、昨年3月中旬に撮影した「原生の森公園に咲くカタクリの花」です。

カタクリは、ユリ科カタクリ属の多年草で、発芽してから花を付けるようになるまで7～8年もかかり、開花期間はたった2週間ほどだそうです。開花に向けて今は準備の時。暖かくなったら、カタクリの花を見つけに出掛けてみませんか。

### 各常任委員会の 3月定例会までの調査事項

#### ◆総務建設委員会

1. 函南町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事後評価と次期計画の概要
2. 森林環境譲与税基金条例の制定

3. 下水道使用料の見直し

4. 台風19号による災害復旧工事（現地視察含む）

#### ◆文教厚生委員会

1. 国民健康保険の現状
2. 幼児教育の充実
3. わかくさ共同作業所の現状（現地視察含む）

議会を  
傍聴して  
みませんか？

3月定例会

2月25日～3月13日  
を予定しています。

あとがき

近年の水害は、多くの被害がみられます。12月議会は、台風第19号の災害の一般質問が多くされました。狩野川台風くらいの雨が降り多くの水害がありました。平成10年の台風による豪雨災害により大場川、来光川、柿沢川の河川改修が行われましたが、まだまだ安心して暮らせるような状態ではありません。

平坦地の水害、中山間地の土砂災害など町全体のこととして考えるべきかと思えます。災害に強い町づくりを目指す。議会活動をしていきたいと思っています。

編集委員 岩城 仁

議会だより編集委員会

委員長 杉 村 清  
副委員長 野 田 哲  
委員 岩 城 仁  
委員 古 村 高  
委員 兵 藤 慎  
委員 中 野 博  
委員 鈴 木 晴

発行 函南町議会 〒419-0192 静岡県田方郡函南町平井 717-13  
発行人 議会議長 中野 博 TEL (055) 979-8122・FAX (055) 979-8151  
E-mail: gikai@town.kannami.shizuoka.jp